

本調査研究はモーターボート競走公益資金  
による財団法人日本船舶振興会の補助金を受けて  
実施したものです。

# 離島における地域開発の進展に伴う 海上輸送体系のあり方に関する調査研究

## — 報告書 —

平成 5 年 3 月

財団法人 九州海運振興センター

## は し が き

本書は、当センターが『財団法人 日本船舶振興会』の平成3年度から2カ年にわたる補助事業として、長崎県の対馬を対象に実施した「離島における地域開発の進展に伴う海上輸送体系のあり方に関する調査研究」の研究成果を最終報告書としてとりまとめたものであります。

九州周辺には、125にのぼる離島（有人島）が点在し、約50万の人が生活を営んでおられますが、離島の多くは過疎化、高齢化などの問題を抱え、民生は本土と比較して低い水準にとどまっており、離島振興策の推進による地域活性化が重要な課題となっております。

このような状況の下、今後の対馬の活性化を図っていくためには、近年のライフスタイルの変化・観光関連産業の隆盛、一村一品運動に代表される地域特産品開発の普及などの傾向を踏まえ、対馬の役割と可能性を見直すことが必要と考えられ、それに伴う海上輸送体系の整備が望まれるところであります。

このため、平成4年度は、初年度に実施した対馬の地域振興整備における現況と整備計画等並びに航路及び航空路利用者に対する実態調査、観光客に対する実態調査等の結果を踏まえ、本年度は離島住民、交通関連事業者並びに観光関連事業者の地域振興に関する意識調査並びに観光需要実態調査及び国際交流概況調査などを実施し、今後の海上輸送体系の整備のあり方について課題・問題点を明らかにしました。この報告書が関係者の方々にいささかなりともご参考になれば幸いに存じます。

最後になりましたが、本調査研究をとりまとめるにあたって終始ご指導、ご協力をいただいた九州大学中橋名誉教授をはじめ委員各位、関係官公庁、並びに調査にご協力いただいた関係の方々に改めてお礼を申し上げます。

平成5年3月

財団法人 九州海運振興センター

会 長 邑 本 義 一

『離島における地域開発の進展に伴う海上輸送体系のあり方に関する調査研究』

委員名簿

(順不同 敬称略)

委員 長	中 橋 興	九州大学名誉教授・熊本商科大学教授
副委員 長	(矢堀 田 俊 文)	九州大学経済学部教授
委 員	(藤田 川 武 彦)	第四港湾建設局企画課長
〃	平 田 春 三	大阪航空局福岡空港事務所空港長
〃	(落合 田 進)	〃 事務局長
〃	小野 伸 夫	長崎県対馬支庁長
〃	小溝 添 一 紀	長崎県企画部離島半島・地域政策課長
〃	内田 正二郎	長崎県企画部交通政策課長
〃	(増田 武 二)	
〃	前田 信 行	長崎県経済部観光課長
〃	野田 博	(出)九州・山口経済連合会調査部長
〃	船山 龍 博	(出)日本旅行業協会九州支部長
〃	岡山 光 昭	対馬島観光協会会長
〃	(松尾 融)	(株)十八銀行地域開発部長
〃	(藤赤 池 紘 二)	エアーニッポン(株)福岡空港支店長
〃	松尾 村 正 弘	九州旅客船協会連合会専務理事
〃	(福本 庭 秀 茂)	九州運輸局企画部長
幹 事	大前 田 弘 樹	九州運輸局運航部長
〃	山 口 弘 迪	長崎県企画部交通政策課参事
〃	(渡宮 辺 学 論)	九州運輸局福岡海運支局長
〃	(小岡 崎 宏 彦)	〃 企画部地域整備観光課長
〃	(徳永 進 彦)	〃 運航部輸送課長
〃	(三宅 崎 徹 宏)	〃 企画部貨物流通企画課長
事務局	(岡師 岡 照 房)	〃 運航部輸送課補佐官
〃	岡崎 賢 次	〃 〃 輸送課専門官
〃	岩本 隆 徳	〃 企画部貨物流通企画課補佐官
〃	(船光 本 眞 博)	〃 〃 〃 流通企画第二係長
〃	(喜杉 田 秀 生)	
〃	肥田 幹 也	(出)九州海運振興センター専務理事
集計 解析	吉井 中 耕	〃 調査役
〃	田 中	(株)日本統計センター業務部長
		〃 企画課長

※ ( ) は前任者

# 目 次

第1章 調査の概要	
第1節 調査の目的	1
第2節 調査の対象地域	1
第3節 調査の体系	2
第2章 対馬の概況	
第1節 地勢と沿革	3
第2節 人口の動向	5
第3節 産業の概況	8
第4節 民生の概況	19
第3章 対馬の交通体系と輸送実績	
第1節 交通基盤	23
第2節 輸送の現況	32
第3節 旅客の流動状況	35
(「航路・航空路旅客実態調査」結果の解説)	
第4章 対馬観光の現況	
第1節 観光施設の概況	49
第2節 宿泊施設の現況	52
第3節 観光の動向	54
第4節 観光客の実態	64
(「入込客実態調査」結果の解説)	
第5章 地域開発の動向	
第1節 地域開発の動向	83
第2節 対馬における開発の動向	87
第3節 地域開発事例	97
第6章 対馬の観光と地域振興	
第1節 レジャーと観光に対する意識	103
(「レジャーと観光に関するアンケート」調査結果)	
第2節 対馬住民の地域振興に対する意識	117
(「交通と生活に関するアンケート」調査結果)	

第3節 交通、観光事業者の地域振興に対する意識	133
(ヒアリング結果要約)	
<b>第7章 交通機関の利用状況</b>	
第1節 調査概要(「対馬についての交通アンケート」調査結果)	137
第2節 空路利用客の実態	139
第3節 フェリー利用客の実態	149
第4節 ジェットフォイル利用客の実態	159
第5節 交通機関に対する利用客の意見・要望	165
<b>第8章 対馬の地域振興と輸送体系の「現状」と「問題点」</b>	
第1節 地域の現状と問題点	173
第2節 地域振興方策提言にあたっての問題点	177
第3節 海上輸送体系整備方策提言にあたっての問題点	179
<b>第9章 対馬の地域振興と輸送体系のあり方への提言</b>	
第1節 地域活性化策	183
第2節 海上輸送を中心とした輸送体系整備あり方	186
参考資料(調査票)	191

詳細は当センターへお問合せ下さい

**(財)九州運輸振興センター**

電話 : 092-451-0469

e-mail : info@kyushu-transport.or.jp